

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	50%	0%	利用する教室は3部屋用意しています コロナの影響もあり、感染対策は万全に行い十分なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	75%	25%	0%	必要な人員は配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	0%	50%	現在のところバリアフリーを必要としている利用者はいません。今後受け入れていく際には環境整備を進めていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	50%	50%	0%	OKR(全体目標を意識した個人目標を意識した個人目標達成ツール)を通じてPDCAを回しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	保護者へのアンケート調査を行い、業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	自己評価の結果はホームページへ公開しお知らせしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%	50%	0%	相談員はもちろん小中学校の先生方にも見学してもらい評価してもらっています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	リタリコの研修教材を使い各自進めています。更に外部研修に参加し、伝達講習をすることで内部の研修を行なっています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	25%	0%	アセスメントを適切に行い分析したうえで計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%	25%	0%	アセスメントツールを使用することで、お子様を細かく分析することができ本人にあったプログラムと計画書ができると考えております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%	0%	メニューを担当者が日々作成しチームで検討し提供しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75%	25%	0%	本人にあったプログラムを提供を作成しています。 好みや認知レベルによって変わるため検討し修正をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	75%	25%	0%	平日は通常支援でスキルアップゲームと学習を行います。 土曜日は長編ゲームや動画編集など好きなことに取り組んでいます。

	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	25%	0%	機能分化したことで個別活動と集団活動が
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	25%	0%	14時から全体ミーティングを行い情報の共有をしています。その後各施設でその日のメニュー打ち合わせを行なっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%	0%	支援終了後に支援の振り返りを行い情報共有し次に生かしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	75%	25%	0%	日々の支援に SOAP を活用し細かく記録し誰もが観ても分かりやすいようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	年二回のモニタリングを実施し計画の見直しを行なっています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	75%	25%	0%	昨年度末に保護者様参加型のイベントを行いお子様達の日頃の成果を見ていただきました。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	担当者会議には責任者が参加しています。事前にお子様の様子を文章化しています。会議の報告はミーティング時に行なっています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	学校との情報の共有は密に行なっています。お子様が元気に登校し楽しく当施設を利用してもらうことがお子様の自立につながるかと考えております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%	0%	0%	食物アレルギーのある子に対しては、直接病院に出向きエピペンの使い方を学ぶことができました。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	25%	25%	相談事業所を通し情報の交換を行なっています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	25%	25%	これまで障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者がいなかったため行なっておりません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	25%	25%	定期的に外部研修に参加し伝達講習として内部の研修を行なっています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	25%	50%	25%	イベントを通して障害のない子供との交流を実施しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	50%	50%	0%	行政が行なっている自立支援協議会に委員として参加しています。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	定期的にモニタリングや送迎、お迎え時間を利用し情報の共有を行なっています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	50%	0%	定期的に保護者サロンを実施し保護者との会話の中で支援を行なっています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約の際に丁寧に説明をしています。
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	悩みなどは随時聞き取り早期に解決できるように支援しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	75%	25%	0%	父母の会、保護者会は保護者サロンという形で行い、保護者同士の連携を支援しています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	75%	0%	25%	苦情に関しては意見箱を設置しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	75%	25%	0%	会報はトム・ソーヤ通信として定期的に発行しています。その他に細かい連絡は施設用の掲示板に掲示しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	個人の重要書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	75%	25%	0%	コロナ感染症もあり昨年は1回の実施でしたが行事を開催することが出来ました。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	マニュアルを作成しています。避難訓練は年に2回実施しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	マニュアルを作成しています。避難訓練は年に2回実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	75%	0%	25%	マニュアルを作成しています。避難訓練は年に2回実施しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	50%	25%	25%	現在、身体拘束を必要とする利用者がいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	75%	25%	0%	主治医よりエピペンの使用方法の研修を受けてきた。今後年2回実施予定

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	75%	25%	0%	ヒヤリハット報告書を作成しその都度事業所内で共有し事故防止に努めています。
--	----	----------------------------	-----	-----	----	---------------------------------------